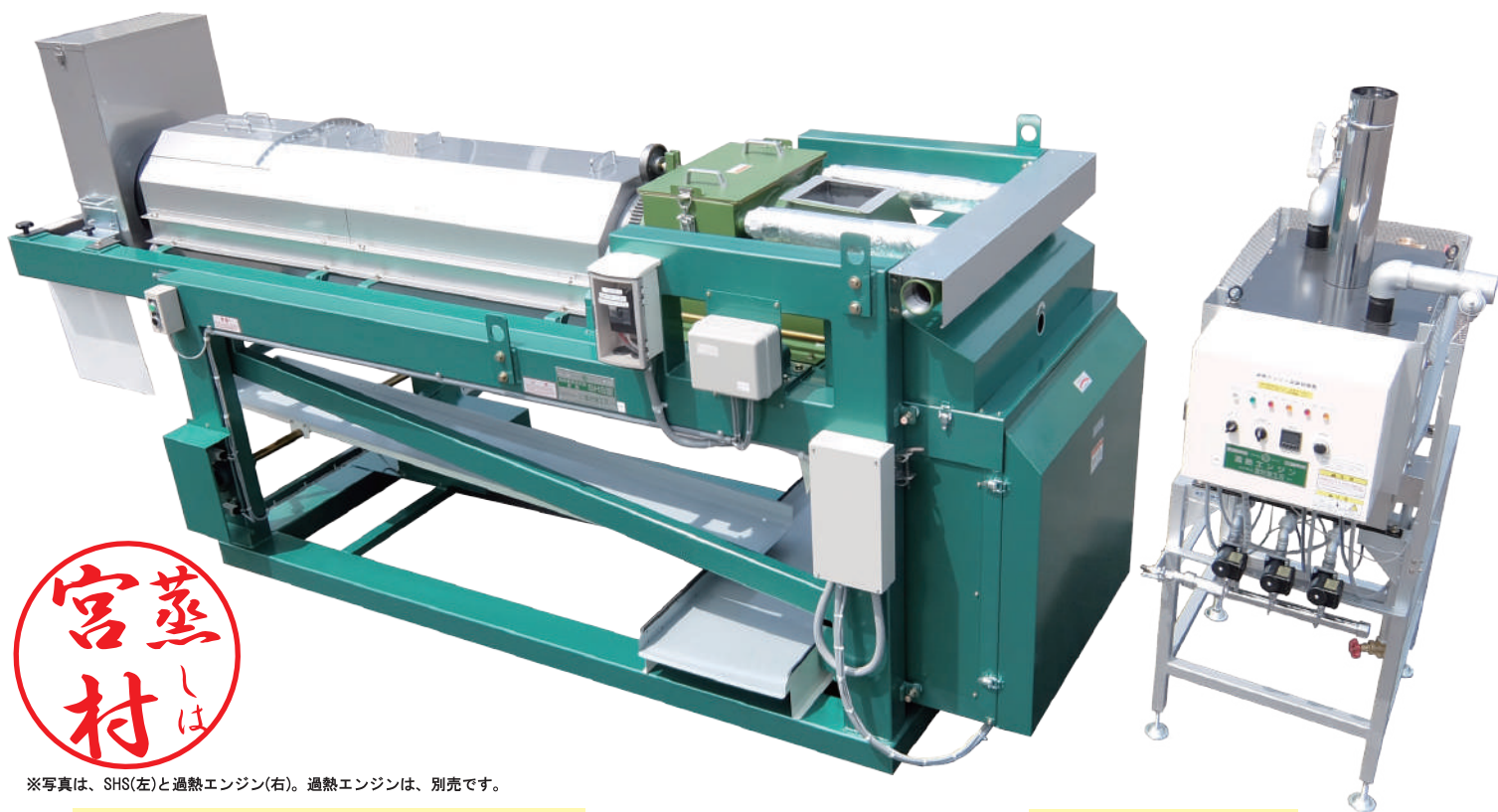


絶大なご信頼をいただく宮村式製茶機械

新開発

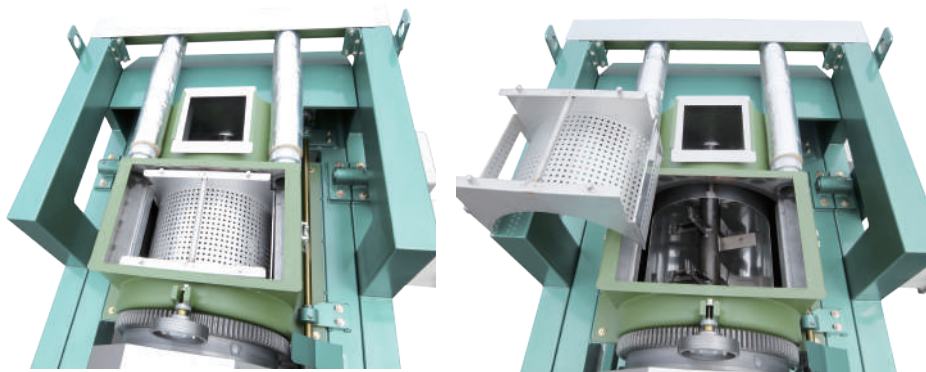
飽和蒸気と過熱蒸気を使用出来る
ハイブリッドタイプ

過熱蒸気対応型蒸機 SHS (SUPER HEATED STEAMER)



※写真は、SHS(左)と過熱エンジン(右)。過熱エンジンは、別売です。

蒸気室内のメンテナンス容易化



蒸気室を大型化

蒸気室の容量を約25%アップ
(過熱蒸気の体積膨張に対応)



●仕様・デザイン等は、改良のため予告なく変更する場合があります。 ●印刷や紙の特性上、製品の写真は実際の色と異なる場合があります。

●製品に関する詳細につきましては、下記までお気軽にお問合せ下さい。

株式会社 宮村鐵五灰

- 販売店 -

〒428-0037 静岡県島田市菊川 168 番地
TEL (0547) 46-3000(代) FAX (0547) 46-3003

Ver.1910

過熱蒸気対応型蒸機SHS

過熱蒸気対応型蒸機SHS(SUPER HEATED STEAMER)の特徴

- ◆ 過熱蒸気を使用し、熱処理を行うことが出来る蒸機です。(過熱エンジンの併設が必要)
- ◆ 従来の製法である飽和蒸気による熱処理も可能です。
- ◆ 過熱蒸気は飽和蒸気では十分に熱処理できない茶葉・茎まで熱処理が可能のため、茶葉全体を柔らかく蒸しあげます。
- ◆ 従来の主流である高級リーフ茶から、近年需要が高いドリンク茶まで幅広く対応が出来ます。

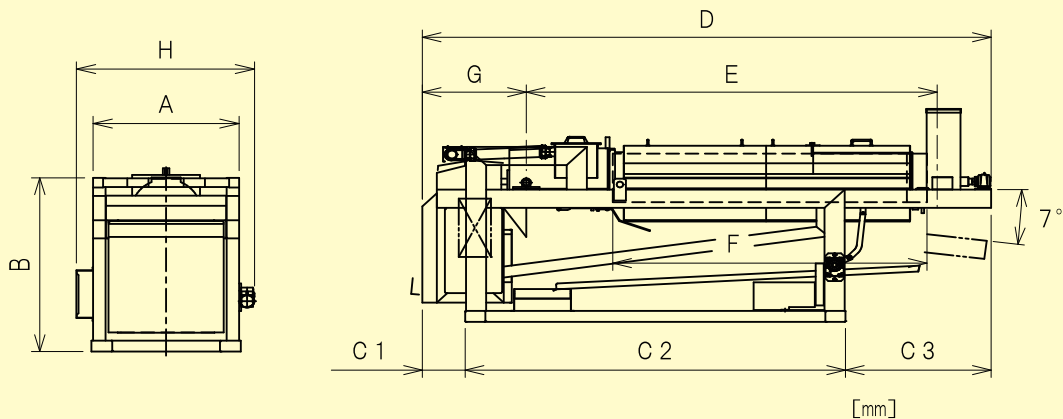
過熱蒸気とは・・・

- ◆ 飽和蒸気を、常温常圧で加熱し昇温させた蒸気です。
- ◆ 飽和蒸気の伝熱作用は凝縮のみですが、過熱蒸気は、凝縮・輻射・対流からなる複合伝熱を持ち合わせています。
- ◆ 飽和蒸気と比べても、熱量が高く多彩な熱処理に長けています。
また、約180度(逆転点温度)を超えると更に優れた乾燥特性を示します。

【過熱蒸気を利用した荒茶製造の特徴と効果】

- ◆ 3種類の伝熱方法により、茶葉の酸化酵素を効率よく殺青します。
- ◆ 蒸気温度を調整することにより、全茶期を通して上芽から下葉・茎までムラなく蒸しあげることが出来ます。
- ◆ 飽和蒸気と比べて、青みの強い蒸し上がりです。
- ◆ 硬化した茶葉も柔らかく蒸しあげることができ、粗揉工程での上乾き・精揉工程での白ずれが軽減します。
- ◆ 硬化した茶葉の茎臭・硬葉臭を軽減し、青臭みのないまろやかな味のお茶に仕上がります。
- ◆ 省エネ作用
 - *蒸と乾燥を同時に行うことが出来るため、処理能力の向上が期待できます。
 - *伝熱効率が高いため、蒸気量の削減が期待できます。

主要寸法 および 仕様



	A	B	C1	C2	C3	D	E	F	G	H	動力[kw]
9-450K	815	1050	280	1910	765	2960	2100	1500	580	(1050)	3.7・0.4・(0.2)
9-550K						775	3120	2250			
10-700K						800	3140			575	
10-750K	875	265	2210	830	3320	2400	1800				
11-850K								3380			
11-950K				2360	905	3530	2550	1950			
12-1100K	940	255	2510			3520	2580		635	(1200)	5.5・0.4・0.4
12-1200K								3690			
13-1300K	1055	1500	330	2510	975	3820	2750	2100	720	(1320)	5.5・0.75・0.4
13-1400K											
14-1500K	1155			360	2700	2850	940	4000	2950	2250	
14-1600K											4150
15-1800K	1205	490			1090	4430			910	(1480)	